

1. 平成24年度 営業概況について

平成24年度の立山黒部アルペンルートは、前年度の入込人員が全線開業以来最低の827千人となり、大幅な回復を期待しておりました。

平成24年の観光業界においては、国内旅行は、格安航空会社の台頭、東京スカイツリーのオープンなどにより旅行需要の伸びが見られ、海外旅行も羽田空港の国際化以降、首都圏からの出国者は増加傾向にあり、過去最高の出国者数となりました。また、訪日外客数は史上第2位まで回復しました。

当ルートの営業概況は、国内客の個人旅客が当社線利用については順調に回復しましたが、団体旅客は、高速ツアーバス事故によるバス旅行の低迷、東京スカイツリー開業による東京観光の人気などが影響し、微増となり、国内旅客の入込は合計796千人（対前年103%、23千人増）となりました。

訪日客は、主要国の台湾が牽引役となり、韓国、香港、東南アジア（タイ、シンガポール、インドネシア、マレーシア等）も堅調に推移しましたので、訪日旅客の入込は89千人（対前年164%、35千人増）となりました。

結果、入込合計は885千人（対前年107%、58千人増）となりましたが、2年連続で80万人台に留まりました。入込別では、富山入込が444千人（対前年114%）、大町入込は441千人（対前年101%）となりました。

●アルペンルート入込人員実績

(単位：人)	平成23年度		平成24年度		
	実績	前年比	実績	増減	前年比
入込合計	827,400	83%	884,900	57,500	107%
富山入込	388,800	80%	444,100	55,300	114%
大町入込	438,600	85%	440,800	2,200	101%
<国内・訪日内訳>					
国内入込人員	773,000	85%	795,900	22,900	103%
個人	536,000	91%	550,900	14,900	103%
団体	237,000	75%	245,000	8,000	104%
訪日入込人員	54,400	56%	89,000	34,600	164%
台湾	45,900	74%	65,400	19,500	142%
韓国	3,100	19%	7,300	4,200	235%
香港	3,700	32%	7,900	4,200	214%
中国	300	31%	400	100	133%
タイ	700	23%	4,600	3,900	657%
その他	700	24%	3,400	2,700	486%

●ホテル宿泊人員実績（立山貫光ターミナル株）

(単位：人)	平成23年度		平成24年度		
	実績	前年比	実績	増減	前年比
ホテル立山	29,800	92%	32,100	2,300	108%
弥陀ヶ原ホテル	13,100	89%	15,600	2,500	119%
宇奈月国際ホテル	25,300	90%	24,500	△800	97%

2. 決算の概要について

連結決算の概要 (連結対象会社：立山貫光ターミナル(株)・立山黒部サービス(株))

会社名	連結			立山黒部貫光(株)			立山貫光ターミナル(株)			立山黒部サービス(株)																				
	23年度 (百万円)	24年度 (百万円)	前年度比 %	23年度 (百万円)	24年度 (百万円)	前年度比 %	23年度 (百万円)	24年度 (百万円)	前年度比 %	23年度 (百万円)	24年度 (百万円)	前年度比 %																		
営業収益	/									2,875			3,285			114.3%														
運輸事業																														
ホテル事業																627			684			109.0%								
ホテル立山																290			339			116.5%								
弥陀ヶ原ホテル																464			434			93.5%								
宇奈月国際ホテル																1,382			1,457			105.4%								
ホテル事業計							1,382			1,457			105.4%																	
付帯事業				615			674			109.6%			986			1,102			111.8%			292			252			86.5%		
営業収益計	5,672	6,286	110.8%	3,490	3,959	113.4%	2,368	2,559	108.1%	292	252	86.5%																		
営業費	6,324	6,399	101.2%	4,014	4,102	102.2%	2,514	2,563	102.0%	291	237	81.7%																		
営業利益	△ 652	△ 112	—	△ 524	△ 142	—	△ 145	△ 4	—	0	14	1719.2%																		
営業外損益	30	30	101.5%	28	27	96.6%	11	13	118.3%	0	0	163.7%																		
経常利益	△ 621	△ 82	—	△ 495	△ 115	—	△ 133	9	—	1	15	1185.5%																		
特別利益	注1 143	9	6.5%	115	8	7.4%	28	0	—	0	0	—																		
特別損失	注2 388	注3 119	30.8%	330	72	21.9%	0	0	536.4%	1	0	54.5%																		
税引前当期純利益	△ 866	△ 192	—	△ 710	△ 178	—	△ 105	9	—	0	15	7034.0%																		
法人税、住民税及び事業税	10	12	113.0%	9	7	84.0%	1	2	155.2%	0	2	587.6%																		
法人税等調整額	13	注4 768	5607.6%	△ 122	716	—	157	△ 4	—	△ 1	0	—																		
少数株主利益	△ 76	4	—	/																										
当期純利益	△ 814	△ 977	—	△ 597	△ 903	—	△ 264	11	—	0	13	1626.6%																		
総資産	12,513	11,917	95.2%	11,454	10,984	95.9%	1,662	1,590	95.7%	239	274	114.7%																		
純資産	7,694	6,654	86.5%	7,358	6,375	86.6%	1,028	1,060	103.1%	144	157	109.2%																		

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てしております。

注1	東電賠償金受入	99
	保険金収入	44

注2	減損損失	371
	固定資産除却損	17

注3	減損損失	62
	棚卸資産処分額	19
	固定資産除却損	17
	投資有価証券売却損	13

注4	繰延税金資産の取り崩し	
----	-------------	--